

違いを認め合える社会の実現を

人はみんな違っています。ひとくくりにレッテルをはってしまうと、大切なその人の個性が見えなくなります。

しかし現実には、性別、年齢、障害の有無などの違いにより分けられた集団にレッテルをはったり、同和問題のように歴史的、社会的につくられた根拠のない違いによる人権侵害がおきています。

差別や偏見は、人を傷つけるだけでなく、自らの生き方も狭めることとなります。また、傍観することも人権侵害を許すことになり、すべての人が「人を差別しない、差別を許さない」を実行することが大切です。

そのために、今一度、自分の中に誤った固定観念がないか、他人に対して先入観を持った見方をしていないか、確かめてみましょう。そのうえで、すべての人の違いや個性を認め合い、ふれ合うことを通して、生活の中から人権の大切さを学び、考え、行動していきましょう。

人権尊重のまちづくり



誰もが心豊かに、生き生きと暮らせるまちづくりに向けて、地域の日常生活の中で起こる環境問題や防災、防犯など身近なテーマを取りあげの中で子どもや高齢者、障害者等の人権（生命）について住民自らが民主的、組織的に話し合っている地域があります。

こういった自主的な取り組みが、地域課題の発生を未然に防いだり、発生してもすばやく対応できる安心・安全で、魅力あふれるまちづくりにつながります。

同じ地域でお互いの人権を大切にしながらみんなが幸せに暮らしていくために、集い、話し合いながら、個性を活かし協力してまちづくりを進めましょう。

お問い合わせ

福山市 人権推進課

TEL 084-928-1006

FAX 084-928-1229

〈発行 2006年(平成18年)3月〉